

じらふ長居



2022年3月改訂

児童発達支援事業／放課後等デイサービス事業

(大阪市発達障がい児専門療育機関)

★専門療育の利用期間は4月～翌年3月になります



アクセス JR阪和線「長居」駅より徒歩5分

地下鉄御堂筋線「長居」駅より徒歩10分

※駐車スペースがありませんので、車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用下さい。

〒558-0003 大阪市住吉区长居2丁目-4-1

TEL:06-6655-0141、FAX:06-6655-0142

(じらふ長居担当者直通:080-5816-4697)

営業時間 火曜～土曜 10:00～18:00

HP <https://www.lifesupport.or.jp/>



療育は保護者の方と一緒にすすめていきます

療育方針

1. わが子のことを知る

保護者の方が療育の中でお子さまの好きなものや得意なこと、興味のあること、困っていることについて、改めて考え発見する機会を設け、わが子への理解がより深まるよう支援します

お子さまには、周囲の大人から自分の個性を大切にされることで自尊心を育み、より主体的に自発的に生活できるよう支援します

2. 「伝える」「わかる」を育む

保護者の方が自閉スペクトラム症の特性や基本的な関わり方の工夫について、知り、わが子に置き換えて考えられるよう支援します

お子さまについては、自閉スペクトラム症の特性にあった関わりが日常生活の中で増えていく事で、より自分らしく成長できるよう支援します

3. 「できる」を育む

具体的な関わり方の工夫を保護者の方とともに実践し、わが子に合った子育ての工夫や、今わが子に芽生えている力を見つけられるように支援します

お子さまについては、自分に合った工夫の中で活動してみることで成功体験を積み自尊心を育めるよう支援します

○対象者

- ・年齢は年少から小学校3年生のお子さま ・定員40名(幼児20名/学齢児20名)
- ・医療機関で「自閉スペクトラム症」「自閉症」「広汎性発達障がい」「アスペルガー症候群」等の診断を受けた児童及び保護者の方
- ・保護者同伴で1年間(療育20回)継続して通所が可能で、保護者研修(10項目の視聴)に参加できる方 ※兄弟児を連れての利用は、お断りしています

○利用料金

療育の利用については、国が定める利用者負担額を徴収させていただきます

※小学生については、平日の利用と夏休みなどの利用では負担額が異なります

※未就学の方は、「幼児教育・保育の無償化」の対象になります

※ご利用いただくにあたり、通所受給者証の取得が必要になります

○療育利用の流れ

医療機関での診断／大阪市に利用登録_申し込み

じらふについての説明

事前の情報収集

初回 単独療育／ご家族のニーズの確認

個別の支援計画の作成／療育・保護者研修スタート

○時間帯（※療育時間は1回1時間程度です）

療育の曜日と時間帯は1年間固定です。

年間予定決定後の変更はできません。

○療育の留意点

- ・療育中は、保護者の方にも療育に参加して頂きます
- ・1時間の流れは、個別の目標によって内容は変更になります。

○療育の内容

個別療育



個別の支援計画のもとに、
一人ひとりに応じたプログラムを提供します



意思表出が苦手な方にはPECS®などの
AACを提供しています



読み飛ばしや模写ができない方にはビジョ
ントレーニングを提供しています

グループ療育



ルールのある遊びを通して小集団に慣れること
や体づくり、大人やお友達との関わりの中から
コミュニケーションの基礎作りをしていきます



指示に応じることが苦手な方には、視覚的支
援を用いて意味と見通しを教えます

○保護者研修（受講必須）全10項目

保護者の方が、我が子についての理解を深め、適切な支援の
観点とその方法について学習することを目的としています。

保護者同士の交流や情報交換なども状況を見て行っています

じらふでは、保護者研修を動画で提供させていただいております。保護者研修を
療育中に視聴するか、家庭で視聴するかを選んでいただくことが出来ます。



	内容 *変更になることがあります
第1回	療育って何？ ～療育のねらいや目的～
第2回	自閉スペクトラムの特性の理解(1)
第3回	自閉スペクトラムの特性の理解(2)
第4回	子どものほめ方や関わり方について(1)
第5回	子どものほめ方や関わり方について(2)
第6回	子どもに分かりやすく伝えるには～構造化のアイデア～
第7回	子どもに分かりやすく伝えるには～視覚的な工夫について～
第8回	子どもに分かりやすく伝えるには ～ヒトとの関わりやコミュニケーションについて～
第9回	サポートブックを作ってみよう!!
第10回	社会資源の活用や園、学校との連携 ～思春期や将来に向けて～

○療育相談（希望者のみ）

療育・保護者研修では解決しにくい問題について個別に相談に応じるた
めに相談業務を実施しています。

○事業以外のさまざまな活動

- ・ママレモンズ(お母さんの集まる場として)
- ・おやじの会(お父さんの集まる場として)
- ・全国放課後連(障害のある子どもの放課後保障全国連絡会)
- ・住吉区住之江区放課後等デイサービス事業所連絡会
＜通称:すみすみ＞ 研修会を定期開催しています
- ・南大阪PECS®サークル(コミュニケーション支援を学ぶ場として)